

平成26年4月～6月

市民の声を市政に活かしています!



毎月2回程度の施設紹介



5月～6月 能美市教育講座「防災」講師

委 嘱 状

田中 策次郎 様

石川県地球温暖化防止活動推進員を委嘱  
します  
期間は委嘱の日から平成28年3月31日まで  
とします



5月9日(金) 石川県庁で知事から  
地球温暖化防止活動推進委員を委嘱

平成26年7月 第7号

能美市議会議員

田中さくじろう

～能美市政報告～



6月議会で一般質問をおこないました

能美市教育行政について

●新教育長に教育方針を問う

市民活動支援について

●「ちょこっとお助け隊」とまちづくり連携は

ふれあいプラザ整備事業

●新ふれあいプラザは福祉教育の手本となる施設か?

●社会福祉協議会統合後の運営とセンター跡利用は?

のみバスの利便性について

●のみバスにフリー乗降制導入を



5月12日～13日 ボランティアグループ「東北視察研修」



現地の語り部の方から震災時と  
今の様子を話して頂きました。

能美市民の力を活かす!



5月25日(日)  
「泉台町防災訓練」で講演

住みよさランキング  
能美市が全国9位!

順位	前年 順位	市名 (都道府県名)	総合評価 偏差値	安心度	利便度	快適度	富裕度	住居水準 充実度
1	1	印西(千葉)	61.12	629	5	6	42	86
2	4	坂井(福井)	57.92	50	90	219	387	13
3	2	野々市(石川)	57.88	2	1	7	241	763
4	6	長久手(愛知)	57.63	211	31	1	18	740
5	3	守谷(茨城)	57.40	666	12	29	37	397
6	8	鯖江(福井)	57.37	30	90	105	418	64
7	13	かほく(石川)	57.31	71	17	133	552	37
8	5	本巣(岐阜)	57.10	170	11	428	313	56
9	19	能美(石川)	57.08	58	423	8	288	79
10	31	名取(宮城)	56.79	576	3	13	239	441
11	7	みよし(愛知)	56.70	386	140	49	3	559
12	10	福井(福井)	56.56	46	90	184	179	291
13	9	砺波(富山)	56.53	226	112	116	406	22
14	22	つくば(茨城)	56.47	175	72	20	23	714
15	20	魚津(富山)	56.45	106	34	367	349	82

「住みよさランキング」は、公的統計を元に  
それぞれの市が持つ「都市力」を「安心度」  
「利便度」「快適度」「富裕度」「住居水準  
充実度」の5つの観点に分類、総合評価  
としてランキングしたもの。

対象は2014年6月16日現在 791都市  
(全国790市と東京区部全体)

支援者の皆様、いつもお便り  
ありがとうございます。



平成26年4月

**車椅子「段差が大変」**  
辰口中央小児童が体験

「車椅子の人が困る」とは多い。普段の暮らしの中で手伝えることを考えてほしい。松岡拓都は段差を上るの簡単に見えるけれど、自分にとっては大変だ。困った手伝える。友達の助けを借りて、自分でも挑戦したい」と話している。

体験後、田中代表は「車椅子の人は、今所にある飲み物のポットが押せず、不自用さな味だった。」

5月27日～29日  
「辰口中央小福祉体験授業」  
(北陸中日新聞より)

6月10日 小松市内の中学校で「ボランティア授業」

能美市議会議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町字 16-2

TEL 0761-58-5037

FAX 0761-58-5209

Mail 3926@e-mail.jp

http://3926jp.net/



友達申請  
してね☆



4月12日  
「手作りの達人市 in 九谷陶芸村」



4月13日「菜の花フェスタ」  
当日は人力車の係員ボランティア



4月27日「坪野山菜まつり」

## 平成26年度 6月議会 一般質問（6月18日）

### 大項目1 能美市教育行政について

#### 質 新教育長としての今後の教育方針を問う

4月から教育長に任命された中嶋新教育長に、今後の能美市教育行政の方針を問います。前教育長の方向性をどのように継承し、またどのような新しい取り組み方を行なうのか。「荒廃した和田山古墳群の再生整備や教育資源としての活かし方をどうするのか？」人口比率では県内で外国人が1番多い能美市に「国際交流室の設置を求める」教育長の今後の能美市教育行政への考え方を示し、その思いを一言でお願いします。

#### 中嶋 教育長

今後の教育方針は、前任の前田教育長の流れ・思いを大切に取り組みを進めていく。能美古墳群整備と活用はアクセスや駐車場など一体的な活性化策で検討を進めている。これまでの活用推進事業に加え「運動と古墳学習をコラボ」できる企画を検討。国際交流室は当面様子を見たい、期が熟せば教育委員会か市長部局か等の是非を検討。今後の教育行政への思いを一言で表現すれば不易流行（ふえきりゅうこう）これまで培った本質的なものを大切に、新たな考え方で教育行政のかじ取りを進める。

再 国際交流の設置の早急な検討を、教育行政・スポーツ支援にも力を（田中策次郎）北陸新幹線開通や東京オリンピック開催前の今が国際交流室検討の時期ではないか？子どもから大人までのスポーツの支援にも、力を発揮して頂くようエールを送ると共に、厳しい目で今後も手腕を見させて戴きたいと思います。

能美市民の力を活かす！

### 大項目2 市民活動支援について

#### 質 ちょこっとお助け隊事業と協働のまちづくりとの連携は？

健康福祉部が高齢者の困り事を100円で解決する「ちょこっとお助け隊事業」これは、軽作業を利用者から100円の料金で行い、残り600円を市が負担し、作業をシルバー人材センターに委託する高齢者の生活支援の施策として大変素晴らしい事業です。一方で市民生活部は、地域の中での共助を目的に設立されたNPO法人「えんがわ」や商工会女性部が中心となり山間地高齢者との交流や安否確認・話し相手に加え移動販売をボランティアで行う「能美市商工女性まちづくり研究会」や市民活動を推進する「能美市市民協働まちづくりセンター」の市民活動が自立するように支援をしています。これらを阻害するような事業はNPOや市民活動の減退につながってしまうのではないのでしょうか「ちょこっとお助け隊事業」も含め、どれも大切な事業です。今後も、すべての事業に継続支援をお願いしたいと思っています。

「ちょこっとお助け隊事業」利用状況と、市民活動との連携について答弁を求めます。

#### 勝山 健康福祉部長

高齢者を支えるためには暮らしを支援するしくみを地域の実情に合わせて考え、NPOやボランティアなど地域資源を組み合わせた施策の展開が必要であると考えています。生活支援は地域によって活動内容に格差があるのが現状です。それらをカバーするために「ちょこっとお助け隊」事業を提案。住民同士の助け合いと市の支援で行う部分を考え、市民活動との連携の重要性も配慮し話し合いを行った。地域福祉委員会などの助け合いの基盤が出来つつある。見守り等の福祉的な部分も他課とも連携を強めていく。これまでの利用状況は73件で、草むしりや掃除機かけなどの作業である。

再 高齢者の生活支援活動に今後も市の力を（田中策次郎）高齢者支援への市民活動には、私もしっかり応援していきますので、市もさらなる支援をよろしくお願い致します。市長には今後も引き続き支援をお願い致します。

教育行政でも日本一  
○4月に就任した中嶋教育長は、初の答弁に立った。高校時代に陸上選手として活躍、インターハイ優勝経験を持つだけに「スタミナは猛ダッシュ、中間は余裕を持たせて全力疾走、そしてラストスパートで任期を務める」と抱負を述べた。もともと、答弁の目標は「緊張した50点あたりをな」と自負。なげ。教育姿勢をたじた田中策次郎氏は「教育行政でも日本一」とエールを送った。

### 大項目3 ふれあいプラザ整備事業について

#### 質 新しく建設されるふれあいプラザは福祉教育の手本となる施設か？

本年度新設される「ふれあいプラザ」は子育ての交流や相談、また発達障害児への対応を行う子育て支援センターと市民ボランティア活動や高齢者、障害者福祉などの拠点となる社会福祉協議会の統合施設の機能を持つ施設であります。昨年6月私の一般質問で「子育て世代に利用しやすく配慮した子育て支援センターを」と要望し、子育てグループや子育て中の方から思いが通じた計画が進んでいると聞いておりたいへんありがたく思っております。新設される「ふれあいプラザ」は市内の小学校児童が「見て・体感」し福祉授業ができる施設になっているのでしょうか？社会福祉サービスの拠点となる施設が、福祉にお粗末な設備であってはならないと思います。高齢社会に進むいま、バリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮された施設であることを望みます。現在どのような計画設計であるのか？

#### 勝山 健康福祉部長

ふれあいプラザは様々な子育て支援施設と地域福祉推進の拠点と位置付け、乳幼児から高齢者・障がいのある方にも安心して利用できるバリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮した内容である。小学校などの福祉授業にも利用していただきたい。設計にあたりボランティアの方々からも様々な意見を頂いた事にお礼を申し上げます。

再 駐車場などの周辺整備や、開所後は時間や曜日など利便性の検討を（田中策次郎）

#### 質 社会福祉協議会統合後の運営とセンターの利用方法は？

来年度、社会福祉協議会が統合後の運営はどのような体制・方針で進んでいくのか。社会福祉協議会の理事会、評議会の中で審議され決定されていくものですが、市が多くの福祉事業を委託している事から、思いを伝えていく必要があるのではないかと。統合前と後ではどのように変わるのか、市民に不便はないのでしょうか。また、統合後の辰口健康福祉センターはどのような利用法を考えているのか

#### 勝山 健康福祉部長

統合後は、いま以上に福祉サービス活動を展開し市民の利便性向上を社協と約束している。辰口健康福祉センターは、市民が有効活用出来る利用について部局で検討を進めている。

### 大項目4 のみバスの利便性について

#### 質 のみバスにフリー乗降制を導入できないか

のみバスが4月にダイヤ改正され、通勤通学が便利になり、JR駅から市内観光地へのアクセスが向上し観光誘客にも配慮され、高齢者の生活支援を考え市内各町から公共温浴施設や商店街にもつながり、多くの市民から利便性が向上したと評価を受けています。しかし一方で「バスの循環方向が時間的に都合悪くなり不便になった」「バス停が遠く困っている」等の市民の声も聞かれます。地域の方からフリー乗降制を導入できないかと提言がありました。バス停以外に乗客が希望する場所で乗り降りができる運行方式です。民間の路線バスにも一部の地域で導入されています。もちろん交通量の多い道路や、交通量の多い時間帯では無理ですが、日中で交通量の少ない町会での導入は出来ないのでしょうか？可能であれば高齢者にとって大変な利便性の向上になると考えます。以上、答弁を求めます。

#### 義本 市民生活部長

交通安全上危険な場所や交通量が多い場所での停車はできない。また、バス停以外での乗車は安全上難しく、降車時に限ればある程度運転手の判断で安全に停車ができる。のみバスの利用者は高齢者が多く、近い場所から乗降できれば利便性が向上するが、安全性の面から難しい。すべての区間とはいかないが、まずはフリー降車制の導入から考えていきたい。この場合でも高齢者が降車を急ぎ走行中に座席を立ち転倒する事故が心配され、安全を第一にバス事業者と相談しながら慎重に考えていく。

市民の声を市政に活かしています！